

相談室だより

No.3 令和元年7月18日(木)



石川県立金沢桜丘高等学校相談課

7月に実施した、1年生対象の人権教育講座の感想文を紹介します。

演題 「多様性を認め合い、自分らしく生きる」

講師 橋本順子先生 (スクールカウンセラー)



2、3年生も、「今から自分にできること」を実践してください。

・私は、人権教育講座を受けて、暴力は相手だけでなく、自分も傷つけてしまうことを学びました。私は身体的に暴力をふるったことはないけど、イライラして良くないことを友達に言ってしまったことが以前ありました。その時、友達もとても傷ついたらろうし、私自身もすごく後悔しました。今回の講座で、暴力において良いことは一つもないことを改めて理解しました。これから私は、思いやりの心を持って相手と向き合うことを大切にしたいと思いました。

・私は、今回のお話で大きく分けて2つのことを学びました。1つ目は、暴力の怖さです。暴力は薬物のような依存性や人を死に追いやる力を持っていて、自殺が10代の死因1位だということにとっても驚き、悲しくなりました。2つ目は、差別や偏見をなくすような取り組みが世界で広まっているということです。LGBTの存在が知られ、認められてきています。また、怖くなったら、拒否したり、逃げたり、相談したりしてもいいということも分かりました。たくさんを知ることができて良い機会になりました。

・人権についての講座を聞いて、自分はほんとうに幸せだと感じました。当たり前のように学校に通い、当たり前のように食事もし、当たり前のように生きている自分が。世界には、そんな当たり前の日常がなく、苦しんでいる人が大勢いるのだと思っだし、そういった人がいるのだと考え、自分の人生を見つめ直したいと思い

ました。人権教育講座で学んだことを今の自分だけでなく、将来の自分にまで届けられるように心の中にとどめておきたいです。

・今回の講座をきいて、自分そして相手を大切に思うことの重要さを改めて感じました。SNSで情報を簡単に発信できる世の中。便利ではありますが、多くの危険がひそんでいます。やはり、面と向かって話をするからこそ感じることができる、相手の思いというものがあるのだと思いました。また、認め合うことの大切さが分かりました。相手に認めてもらうには、まずは自分が相手を認めるべきです。私が変われば世界が変わると信じて、人生を歩んでいきます。

・今回のお話を聞いて改めて人権、暴力について深く考えることができました。暴力の種は自分の中にあり、暴力が止められなくなるのも全て自分次第だということがわかりました。暴力に、依存性があるということを知りました。また、自分は地球上で一人しかいないかけがえのない存在であるという言葉も心に残っています。これからはそれを自覚し、もし嫌なことがあったときには、“NO・GO・TELL”の3つの行動をしっかりとできるようにしたいです。

・今回の講座では、とても多くの貴重なお話を伺うことができ、本当に良い経験になりました。「どうせ生きてるなら、人の心にトゲを刺すこ

と、見えない傷をつけることに鈍感にならずに。」この言葉が、私の中に最も深く残っています。どうせ生きているなら。私は、色々な人と良い関係を築きたいです。そのためには、他者の痛みに敏感になり、時として側で寄り添うことが必要だと思います。一期一会、心と体を大切に生きていきます。ありがとうございました。

・今日の講座で一番心に残った言葉は「相手の心の傷の出血は目に見えない。」です。私は普段、自分では気付かずに当たりが強い言葉を人に言いがちです。それでも相手は何ともない様子だから大丈夫だと思っていました。ですが、講座を通して「言葉の暴力」の恐ろしさを改めて感じました。人は弱さやもろさがあって当然であり、だからこそお互いを思いやって生きていくべきだと思います。これから、相手の立場になって物事を考えられる人になりたいです。

・人権講座を聞いて心が痛くなりました。自殺が10代の一番の死因であり、暴力や何気ないひとことが原因であることも知りました。自分が傷付くことがこわいのに、相手を傷つけることにはそんなに思っていないと聞きました。全員がこの宇宙に一人しかいない存在なのだから、相手のことを自分のように大切にしたいと思いました。みんなが等しく安心して自信を持って生きられるように、今からこの瞬間から自分の言動に気をつけていきたいと思います。

・「自分が変われば世界が変わる。」という言葉がとても印象に残った。講師の橋本先生は、一度自殺の手前まで自分を追いつめてしまったことを話してくださったが、それを聞いて、「もしかしたら自分の周りにもそういう人がいるかもしれない。」と思い、周りへの気配りをよりいっそう考えていかなければならないと思った。自分の心の中にある差別と向き合い、無意識に偏見を作ってしまったかもしれない自分を変えて、世界も変わっていけばいいなと思う。

・私は今回のお話を聞いて、周りの人への思いやりをもっと大切にしなければいけないと思いました。今までの自分を振り返ってみると自分

の発言や行動で他人を傷つけてしまっていたことがあったと感じました。ちょっとしたことで相手の人生を変えてしまうこともあると聞いて、今よりもっと気を使って行動すべきだと思います。みんなが嫌な思いをせず過ごせるように思いやりの気持ちを持って人から信頼される人になろうと思いました。

・人はみな生まれながらにして等しい関係で安心して生きられる権利があり、それを奪う暴力は恐ろしいものだと思います。ささいな言葉の暴力であったとしても、いずれ戦争などのより大きな事態へと発展してしまうと改めて認識し、暴力のない世界になってほしいと感じました。そのために、自分を含め全ての人がこの世にたった一人の、かけがえのない存在であることを日頃から意識し、互いに互いを認め合うことを大切にしていきたいと思いました。

・私はこの講話を聞いて、「思いやりは想像力」という言葉が最も心に響きました。いじめやハラメントが絶えない今、自分の事だけではなく相手の事、未来を想像して一人一人が思いやりのある行動をする必要があるのだと強く感じました。また、SNSは使い方を間違えれば人をも殺しかねない凶器になることに改めて気づかされました。一時の感情でスマホに文字を打ち込むのではなく、一度冷静に考えて、文字を打ったり写真を送ったりしようと思いました。

桜高生の心に一番響いた言葉は

NO やめて
GO 離れる
TELL 話す